

にのみや学園

二宮町立二宮中学校
学校だより No. 4



汐鳴り



令和5年度7月号

◎中郡大会から中ブロック大会へ◎

6月24日(土)のサッカー大会から始まった中郡中学校総合体育大会。その後1学期の期末テストをはさんで7月は卓球、野球、バスケットボール、ソフトテニス、バレーボール、剣道、そして8月の陸上競技、9月16日(土)の駅伝予選会まで続きます。また吹奏楽部は7月27日(木)に西湘吹奏楽コンクールを控えています。数か月前にはランドセルを背負っていたことが想像できないほど顔つきがすっかり中学生らしくなった1年生。先輩としてまた後輩としての自分の役割を果たそうと一生懸命活動する2年生。3年生は最上級生としての自覚と誇りをより高くもって、2年半の活動の締めくくりとなるこの夏、その一瞬、一瞬を大切に日々の練習、そして大会に全力で臨んでいました。

◇今年度：各部の部員数◇ (名)

	1年	2年	3年	合計
陸上競技	10	12	13	35
軟式野球	6	5	3	14
ソフトテニス	5	5	6	16
バレーボール	9	9	8	26
サッカー	9	8	7	24
男子バスケットボール	12	16	9	37
女子バスケットボール	6	6	6	18
卓球	17	15	8	40
剣道	5	9	2	16
吹奏楽	11	11	9	31
美術	3	9	5	17
手工芸	13	6	9	28

全校生徒に対する加入率→約85% (※部活動の地域移行については、7月20日付二宮町教育委員会からの通知をご覧ください。)

もちろん、校内の部活動ではなく、校外の様々なクラブチーム等で頑張っている生徒も少なくありません。自分の力が発揮できる環境でいっぱい活動して自分の可能性を伸ばしてほしいと思っています。スポーツであれ何であれ、中学校時代にこれはやったぞ!と自信をもって言えることが一つでもあるのは素晴らしいことです。

◎水泳教室と水辺の安全教室◎

7月6日(木)の午前中2時間、1年生はバス5台に分乗し、現在二宮町で唯一使用できる山西プールでの水泳教室に出かけました。歩いて二宮中近くの袖ヶ浦プールに行った時代を懐かしく思い起こしながら、燦々と太陽が照りつける中、「行ってきま〜す!」と軽い足取りでバスに乗り込む1年生を見送りました。現地では、限られた短い時間の中、一部の生徒ではありますがライフジャケットの着用を試みることもできました。

また昨年度から引き続き、7月13日(木)は2年生、14日(金)は3年生を対象に水辺の安全教室を実施しました。神奈川県ライフセービング協会の方が「水辺の事故防止」というテーマで、より安全に海や川での活動を楽しめるよう、また最近国内において増えている豪雨災害に対して、生徒自らが危険を予見・回避する力を身に付けるためのお話をしてくださいました。また助けの求め方や119番通報の仕方なども学びました。



『少量の水を入れた20のペットボトルを濡れている人へ。体に密着させて抱えると80kgの体でも浮きます。慌てずに浮きながら救助を待ちましょう。』

『自分だけは大丈夫だと思わない。危険を感じたら逃げましょう。』

◎古澤教諭、2年間ケニア共和国へ◎

今年の3月まで本校で勤務していた古澤教諭が、国内での訓練を経て、JICA 青年海外協力隊員としてこの7月末から2年間、東アフリカのケニア共和国へ派遣されます。現地では、ケニア山の麓に位置し、日本で言えば小学生から中学生が学んでいる公立初等学校で主に算数・数学を教える予定です。それでは最後に、出国を間近に控えた古澤教諭からのメッセージです。

「皆さん。この二宮中でたくさん学び、世界を自由に羽ばたく人材になってください。ちなみにスワヒリ語の‘huru’は‘自由な’‘sawa’は‘OK’を意味します。」